

平成23年度 第1回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成23年6月6日(金) 13:30~14:30
会 場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	委員長 鈴木 紀元 委員 北井 明 委員 河盛 重造 委員 姉川 詔子 委員 津村 直行 委員 北野 章 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子 久保田 あずさ 久保田 千尋
事務局	健康課
会議の公表	公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 挨拶

(2) 議題

議題1 平成22年度予防接種事業実績について

議題2 平成23年度予防接種事業実施計画の変更点について
平成24年度検討事項について

その他

2 提出資料

資料1 平成22年度予防接種事業実績について(第7章 感染症対策・予防接種)

資料2 平成23年度予防接種事業実施計画の変更点について

資料3 麻疹風疹混合(MR)予防接種について、日本脳炎予防接種の再開について
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の円滑な実施について

3 審議経過

【開 会】

(事務局久保田) それでは、定刻になりましたので、予防接種運営連絡会を開催いたします。この会議は、芦屋市情報公開条例に基づき会議は公開となっております。また、委員の皆様のお名前・肩書き・会議録・会議録中の発言も公開となっておりますのでよろしくお願いたします。

なお、この度、組織改正があり健康課の担当部長が変更となったことにより、任命委員が磯森委員から津村委員に代わりましたので、津村委員から一言ご挨拶願います。

(津村委員挨拶)

(事務局久保田) それでは鈴木委員長よろしくお願いたします。

(鈴木委員長) (委員長挨拶)

それでは議題に入ります。事務局から説明してください。

(事務局久保田) 平成22年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(鈴木委員長) ただいまの説明について何かお気づきの点はありますか。

- (河盛委員) MR, 特に1期が, 4年連続接種率が減少しています。MR1期は, この2年95%を割っています。今回は, MR 期は, 95%の接種率を維持して欲しいです。90%をきると小流行が始まります。80%をきると, そうとう流行します。MRは, 他のワクチンに比べて重要であるが, 一般の人は, 集団接種の方が重要で, 個別接種は重要でないと思っている人もいます。たまに, 予防接種はうけたくないという方もいますが, 僕はMRだけは, 必ず接種して欲しいと伝えています。MRについては, 他者に対しても影響が非常に大きいので, 本人だけの問題ではなく, MRの接種率を向上する取り組みを積極的にすすめて欲しいです
- あと, 国の方針だとは思いますが, 子宮頸がん予防ワクチンについてですが, 平成24年3月までということですが, ワクチンの供給再開が8月ということですが, またワクチン不足がおこると思いますが, これは, 国が決めたことですか?
- (事務局瀬戸山) 子宮頸がん予防ワクチンについては, 6月1日の国からの通知で後ほど, 通知文も資料にいれていますが, 円滑な実施を行うために, 本年6月11日から, 高校2年生に対して順次接種を再開するよう通知がきています。
- (河盛委員) しかし, 医療機関にはワクチンがきていません。
- (事務局瀬戸山) 国は, 供給しているといっていますが, 医療機関までワクチンがとどいていないのであれば, どのような状況になっているのか聞いてみたいと思います。
- (河盛委員) 高校2年生以外の接種を禁じるとか, 9月末までは, 高校2年生以外は遠慮してくれというのでないと, もう既に, 中学1年生とかでまっている人も多数います。
- (事務局北口) これは, 厚生労働省の方針で, 市としては, どうしようもないのです。当初は7月からはワクチンが供給されるという見込みで, このような通知がでていていると思います。これは, 全国的に同様な方法ですすすめられているので, 供給が不足し, 接種が滞るようであれば, また接種期間についても再検討されるのではないかと思います。
- (河盛委員) MRについて4年連続で接種率が落ちているのは, ゆゆしき問題だと思う。
- (事務局瀬戸山) 1歳6か月児健診のときの, 集団指導でもMRの接種をするように, 指導していることと, 個別の相談のときにも, 未接種であれば, 2歳までに接種するように話をしています。
- (河盛委員) 3種混合やBCG以外の他の予防接種に比べて, MRは重要であるということを知らない人が多いと思う。集団は, 大事で個別は大事でないという認識の人もいる。
- (事務局久保田) 1歳6か月児健診のときに, 集中的に接種勧奨をすすめていきたいと思っています。
- (鈴木委員長) 啓発につきるといふことだと思います。
- (北野委員) MRの3期のあたりが, 学校がからむのかなと思うのですが, 学校を通じて, 接種の案内を配布したりしていますが, 今回, MR3期の接種率があがっているという事でなにか, 工夫したようなことがあるのでしょうか?あと, 定期接種のなかで重要度が違うというお話を聞かせてもらいましたが, 個別通知をみたときに, これは大事で最優先というのがわかるようになっているのか, それとも, 勧奨についてトーンが変わらないのですか?
- (鈴木委員長) この問題は難しいですね。厚生労働省は, このあたり格付けをしていないので, それを無視して, 市でどれが重要というのは, 難しいと思います。口で言うのはいいと思います。
- (河盛委員) MRの3期・4期の問診票ですが, 3期(中学1年生)・4期(高校3年生)と表現してあることで, 一部の人のなかでは, 中学1年生で接種しなくても, 高校3年生で接種したらよいと考える人もいるのです。また, そのような誤った考えをまわりに

広げる人もいて、中学生に配るときは、中学生しか接種できないということをPRして欲しい。お母さんたちは、われわれ、専門家よりも、お母さん同士の情報を信用するので、正しい情報を伝えるようにお願いします。

- (事務局久保田) 再通知を1月に実施しますので、そのときには、高校生では接種できませんということをお願いいたします。
- (鈴木委員長) ほかにございませんか。ないようでしたら、議題2の平成23年度予防接種事業実施計画の変更点について事務局説明してください。
- (事務局瀬戸山) (資料2)・(資料3)の説明
- (鈴木委員長) 事務局で説明してもらいましたが、なにかご意見ありますか？
- (河盛委員) 日本脳炎の13歳以上の問診票の変更についてですが、なにかリスクがあったのでしょうか。
- (鈴木委員長) 問診票にこの質問事項を追加するようであったのですね、有害事象があったのであれば、知りたいです。
- (河盛委員) 妊娠中で問題になる予防接種は、水痘やインフルエンザはないですよ、風疹ならば、わかりますが。
- (鈴木委員長) これだと、接種医が納得いかないと思いますよ。また、具体的な事例がわかったら教えてください。
- (河盛委員) ポリオについてですが、4種混合はできると思いますが、単独ワクチンができるのですか？
- (鈴木委員長) 単独ワクチンはつくる方針のようです。
- (鈴木委員長) それでは、平成24年度検討事項を議題といたします。
まず、BCGの個別化についてはどうですか？
- (事務局瀬戸山) 今年度は、保健センターが広がったので、集団接種をしていますが、昨年度も要望がでていましたが、BCGについては、平成24年度は個別化の方針でかまわないのでしょうか。
- (鈴木委員長) 医師会側としてはどうですか？
- (河盛委員) 今年度は、しかたがないと思いますが、来年度は、ポリオの不活化も始まりますが、そうすると集団がはいると、予防接種の接種スケジュールを組むのが難しいので、ポリオの不活化がはじまるのであればすべて個別接種ですすめたいです。そのかわり、BCGについては、現在していない先生については、研修をしていただくということで。
- (鈴木委員長) コッホ現象はどうですか？
- (事務局瀬戸山) 平成22年度は、問い合わせはよくありますが、実際にコッホ現象を起したものはありません。
- (鈴木委員長) それでは、その他として、兵庫県における定期予防接種の広域的实施についてを議題といたします。
- (事務局瀬戸山) 先日、河盛委員より、神戸市が定期予防接種の広域化に参加する話があるという事で、芦屋市としてはどうするのかと質問をうけたのですが、芦屋市は、阪神間7市1町間での定期予防接種の相互乗り入れを実施しており、いままでは兵庫県の広域的实施には参加していませんでした。この兵庫県の広域的接種とは、市が兵庫県と契約して、県下、市外での接種を行い、その実施医療機関に支払う方法です。この度、神戸市が入るのであれば、芦屋市としても入る方向で考えているのですが、その際に、予防接種の委託料のあり方として、現在、委託料とワクチン料を、別々に支払いをしておりますが、これを委託料とワクチン代を足した金額を委託料とする形にできればと考えています。

- (鈴木委員長) 支払いは、委託先の市町の方法に従うのではないですか？
- (事務局瀬戸山) 委託料については、芦屋市はワクチン代とは、別々にしておりますが、神戸市などでは、平成21年度には、ワクチン代を含む委託料となっておりますし、その方法が採ればいいのですが。
- (河盛委員) 現行制度をそのまま施行してはどうでしょうか。どの程度の数がかかるかは、始めてみないとわからないと思いますし、今のところは、広域化で手をあげているのは、芦屋市内で、6件か7件くらいしかいません。今は、神戸市が入っていないので、数が少ないです。
- (事務局北口) 芦屋市医師会としては、現行のまがいいということですか？
- (河盛委員) ヒブ・肺炎球菌については、ワクチン代の一時立替えになるので、三種混合等まで、すべて医療機関の一時立替えとなるのであれば、現行制度の方がありがたい。小児科は、予防接種が多いので、すべてのワクチンを先に医療機関で買うのは、資金繰りに困難です。
- (事務局北口) 市としては、月末で締めて請求をしていただければ、翌月25日には、医師会にお支払いすることは可能ですが？
- (河盛委員) 金額的にどうしてもとなるのであれば、しょうがないかもしれませんが、できればそのまま、様子を見たいです。
- (鈴木委員長) 神戸市の広域化の参加は、秋口と聞いていますが。
- (事務局北口) 芦屋市としては、隣接していなければ、広域化に入ることはないのですが、隣接しているので、市民の利便性から神戸市にならう必要があると思っています。
- (鈴木委員長) これは、前向きに神戸市にならってやっていくということですね。
- (事務局瀬戸山) 阪神間での話し合いもありますので、そのなかでも検討していきたいと思います。
- (河盛委員) 神戸市は、いままでは医師会が反対していましたが、今回は、医師会が賛成しているようなので、やるのではないのでしょうか。
- (鈴木委員長) それではその他ございませんか。
- (河盛委員) 4月に予防接種の接種要綱が来たときに、日本脳炎ワクチンの集計にエンセバックを別集計する意味がわかりません。新型インフルエンザであれば、輸入ワクチンがあったので、まだ理解できますが、日本脳炎ワクチンとしては、意味があるのですか？
- (事務局瀬戸山) それは、県の報告様式のとおりです。
- (河盛委員) だいたいの数であれば、注文のワクチンの数でわかるのではないのでしょうか？
- (鈴木委員長) 厚生労働省は、マスとして把握したいのですが、集計が色々あり、医療機関では大変煩雑になっています。
- (河盛委員) このような集計は、できるだけ減らしていただきたい。
- (事務局瀬戸山) 兵庫県は、疾病対策課に確認してみます。
- (鈴木委員) その他、医師会としてなにかありますか？
- (北井委員) 神戸市は、広域化を認める方向と私もきいています。
MRの問題・子宮頸がんの問題で中学生・高校生について、教育委員会の立場はどうなっていますか？今までは、市立の高校がありました、今はないですね。高校生については、市の教育委員会としては、高校生への啓発としては、どういうふうになっていますか。
- (北野委員) 高校は、市の学校教育課としては、直接的なかわりはないです。

- (北井委員) わかりました。今まで、市立の高校があったときは、かわりがあったが、今はないことについては、小児科の先生以外の内科の先生が校医であれば、今の話はほとんどわかっていないと思うのですが。
- (北野委員) MRの3期と子宮頸がん予防ワクチンとしては、文書としては、わかりやすいよう情報は流していますが、県立の中学や高校に直接情報をなぐすことはできません。
- (事務局北口) そのような状況もあり、高校生については、情報を流せない現状があるために、今回の子宮頸がん予防ワクチン接種については、個別通知ということにさせていただきました。
- (北井委員) 非難するつもりはないです。ただ、状況を知っておきたかったのです。
- (鈴木委員長) 副反応の報告はどうでしたか。
- (事務局瀬戸山) 平成22年度は、副反応の報告はありませんでした。平成23年度も接種を安全に行えますようご協力をお願いいたします。
- (鈴木委員長) 年齢の数を、徹底してください。前々日の考えたかたを徹底してください。このあいだも、誕生日の前日にこられた方がいて、接種ができなくて、大変憤慨されていました。明治29年の民法が根拠なのはわかるのですが、もうすこしなんとかならないのでしょうかね。
- (事務局瀬戸山) 4か月児健診の集団指導と、ホームページ等には、すべてにのせるようにしています。
- (鈴木委員長) われわれも、そのような風習があるって知らないですからね。
- (北井委員) もう少し、弾力的に運用することは、できないのですか？
- (北野委員) 前日で満年齢と考えて、学年はきまっています。
- (北井委員) また、もう少しフレキシブルに対応ができるといいんですがね。
- (津村委員) 感覚的にわかるのは、この年齢の数え方について運用されているのは、主に就学のときになると思います。逆をいうと、4月1日に生まれについては、早生まれとなって一学年早く就学通知がいくこととなります。
- (北井委員) 個別通知にはどのように記載されるのですか？
- (事務局瀬戸山) 誕生日の前々日までと標記しています。
- (北井委員) そうですね、これを具体的に日付を標記するくらいでないと、一般の人はわかりにくいと思いますよ。
- (事務局北口) そうなると、一人ひとり文面をかえないといけなくなりますし、今の表現で、できるだけ理解していただくしかないと思います。
- (鈴木委員長) 一般的には、そのようにしか記載できないでしょうね。
- (鈴木委員長) 以上でよろしいでしょうかね。では、これで終了します。どうもご苦労様でした。
- (事務局久保田) 次回の開催については、2月上旬を予定しております。また、近くなりましたら、お知らせいたします。

【閉 会】